



# Amazon EKS における EC2 スポット インスタンスをもっと身近に

クラウド最適化コンテナ編 ~コンテナ x Graviton2 x  
スポットインスタンスによるコスト最適化~

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社  
落水 恭介

2021.08.26

# 自己紹介

---

落水 恭介 (Ochimizu Kyosuke)

コンテナスペシャリストソリューションアーキテクト

- Sler
- 教育業界ベンチャー
- Cloud Integrator
- サポートチーム / アマゾン ウェブ サービス ジャパン
- 現在のロール



好きな AWS サービス:



Amazon Elastic Container Service (Amazon ECS)



Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS)

# 本日本話すること

---

- Amazon EKS におけるコスト最適化
- EC2 スポットインスタンスの活用
  - スポット中断への対応
  - スポットのキャパシティ不足対応
  - スポット/オンデマンドの Pod 配置

# Amazon EKS におけるコスト最適化

# ECS / EKS におけるコストの最適化とは

## ECS / EKS のコスト最適化 = データプレーンのコスト最適化



Amazon ECS



Amazon EKS

コントロールプレーン  
(クラスター)

料金は発生しない

毎時 0.10USD

データプレーン  
(コンテナ実行環境)

- EC2 の利用料金
- Fargate の利用料金

- EC2 の利用料金
- Fargate の利用料金

# データプレーンのコスト最適化

---



## オートスケーリング

---

必要な分だけ

EC2 インスタンス・コンテナを実行



## 適切なサイジング

---

コンテナに適切な

CPU やメモリを割り当て



## 購入オプション

---

スポットインスタンスや

Savings Plans の活用

# データプレーンのコスト最適化

---

今日は購入オプションについてお話しします



## 購入オプション

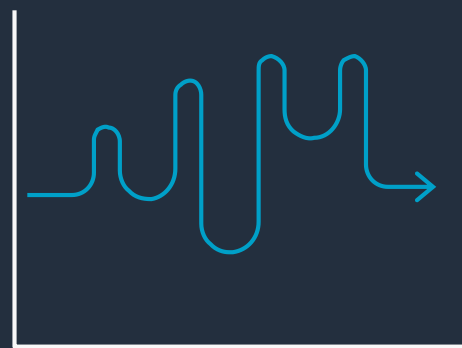
---

スポットインスタンスや  
Savings Plans の活用

# Amazon EC2 の購入オプション

## オンデマンド インスタンス

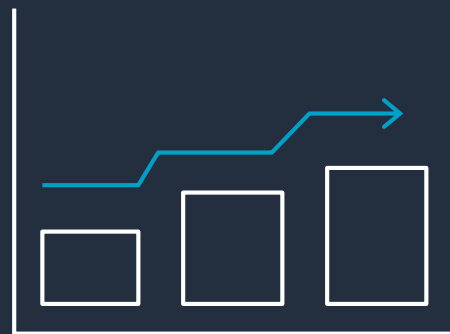
長期のコミット無し、使用分  
への支払い (秒単位/時間単位)。  
Amazon EC2 の定価



スパイクするような  
ワークロード

## リザーブド インスタンス (RIs)

1年/3年の長期コミットに応じた  
大幅なディスカウント価格



一定の負荷の見通しがある  
ワークロード

## Savings Plans

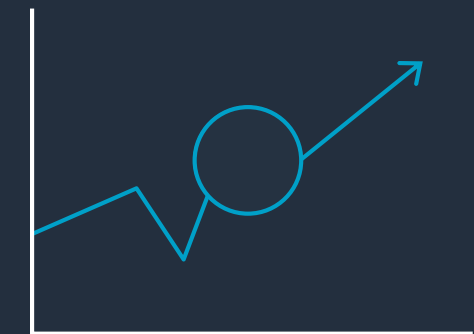
RI と同等のディスカウント  
に加え、さらなる柔軟性



ワークロードを  
またがる柔軟性

## スポット インスタンス

EC2 の空きキャパシティ  
を活用し最大 90% 引き。  
中断あり



中断に強く、様々な  
インスタンスタイプを活用  
できるワークロード

EC2 インスタンスとしての性能に違いはない



# AWS Fargate の購入オプション



- 柔軟な設定の選択肢 – 50 の CPU/メモリ設定から
- Fargate Spot は、通常の Fargate の価格と比較して 最大70% の割引
  - 現時点 (2021-08-26) では ECS でのみ利用可能
- Savings Plan は、最大 約 50% の割引 (3年コミット/全額一括前払い)、下限は 約 15 %

	Fargate	Savings Plan	Fargate Spot
	料金	料金	料金
<b>1 vCPU</b>	\$0.05056	\$0.0394368 (22% Off)	\$0.01584035 (69% Off)
<b>1 GB メモリ</b>	\$0.00553	\$0.0043134 (22% Off)	\$0.00173254 (69% Off)

期間 1 年、全額前払い

※ 東京リージョンでの 2021-08-24 時点での料金

AWS Fargate の料金: <https://aws.amazon.com/jp/fargate/pricing/>

# EKS における Pod 実行環境の選択肢

---

セルフマネージド型  
ノード

ユーザーが自身で EC2 インスタンス /  
Auto Scaling グループを管理

マネージド型  
ノードグループ

EKS がプロビジョニングやライフサイクルを管理

Fargate

サーバーレスのコンピューティングエンジン

<https://docs.aws.amazon.com/eks/latest/userguide/eks-compute.html>

# Pod 実行環境と購入オプションの組み合わせ

スポット  
インスタンス

Savings Plans

リザーブド  
インスタンス (RIs)

セルフマネージド型  
ノード



マネージド型  
ノードグループ



Fargate



# Pod 実行環境と購入オプションの組み合わせ

スポット  
インスタンス

Savings Plans

リザーブド  
インスタンス (RIs)

セルフマネージド型  
ノード



本日はスポットインスタンスの  
活用についてお話しします

マネージド型  
ノードグループ



Fargate



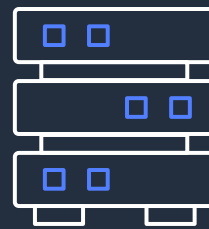
# EC2 スポット インスタンスの活用

# スポットインスタンスの利用において考慮するポイント

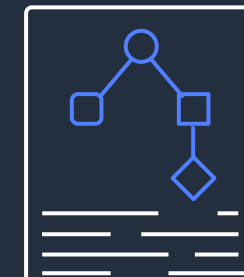
- スポットインスタンスを利用すること自体は簡単
  - [セルフマネージド型ノード]      スポットを利用する Auto Scaling グループを作成
  - [マネージド型ノードグループ]      キャパシティタイプに “スポット” を指定
- 実際の運用においては様々なポイントを考慮する必要がある



スポット中断への対応



スポットのキャパシティ  
不足対応



スポット/オンデマンドの  
Pod 配置

# スポット中断への対応

## セルフマネージド型ノードの場合

### Node Termination Handler (NTH) を利用する

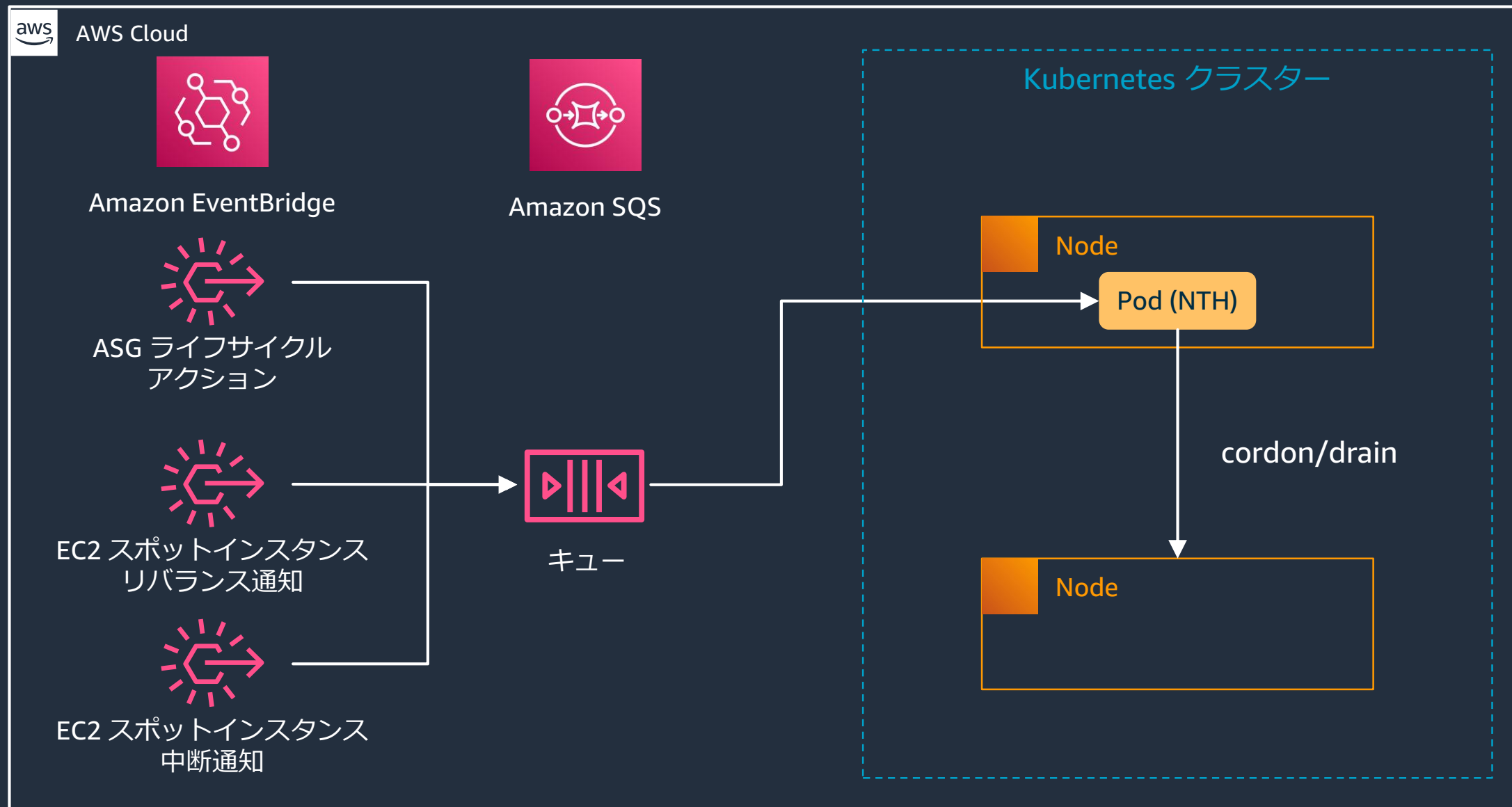
- 以下のようなイベントを検知してノードの cordon/drain を行う
  - スポットインスタンスの中断
  - キャパシティリバランス通知
  - EC2 インスタンスの予定されたイベント
  - Auto Scaling グループ (ASG) のスケールイン
- インスタンスメタデータ (IMDS) / キューの 2 モードが利用可能

Feature	IMDS Processor	Queue Processor
K8s DaemonSet	✓	✗
K8s Deployment	✗	✓
Spot Instance Interruptions (ITN)	✓	✓
Scheduled Events	✓	✓
EC2 Instance Rebalance Recommendation	✓	✓
ASG Lifecycle Hooks	✗	✓
EC2 Status Changes	✗	✓
Setup Required	✗	✓

<https://github.com/aws/aws-node-termination-handler>

# Node Termination Handler (キュープロセッサモード)

各種イベントを SQS キューに集約して Node Termination Handler が処理を行う

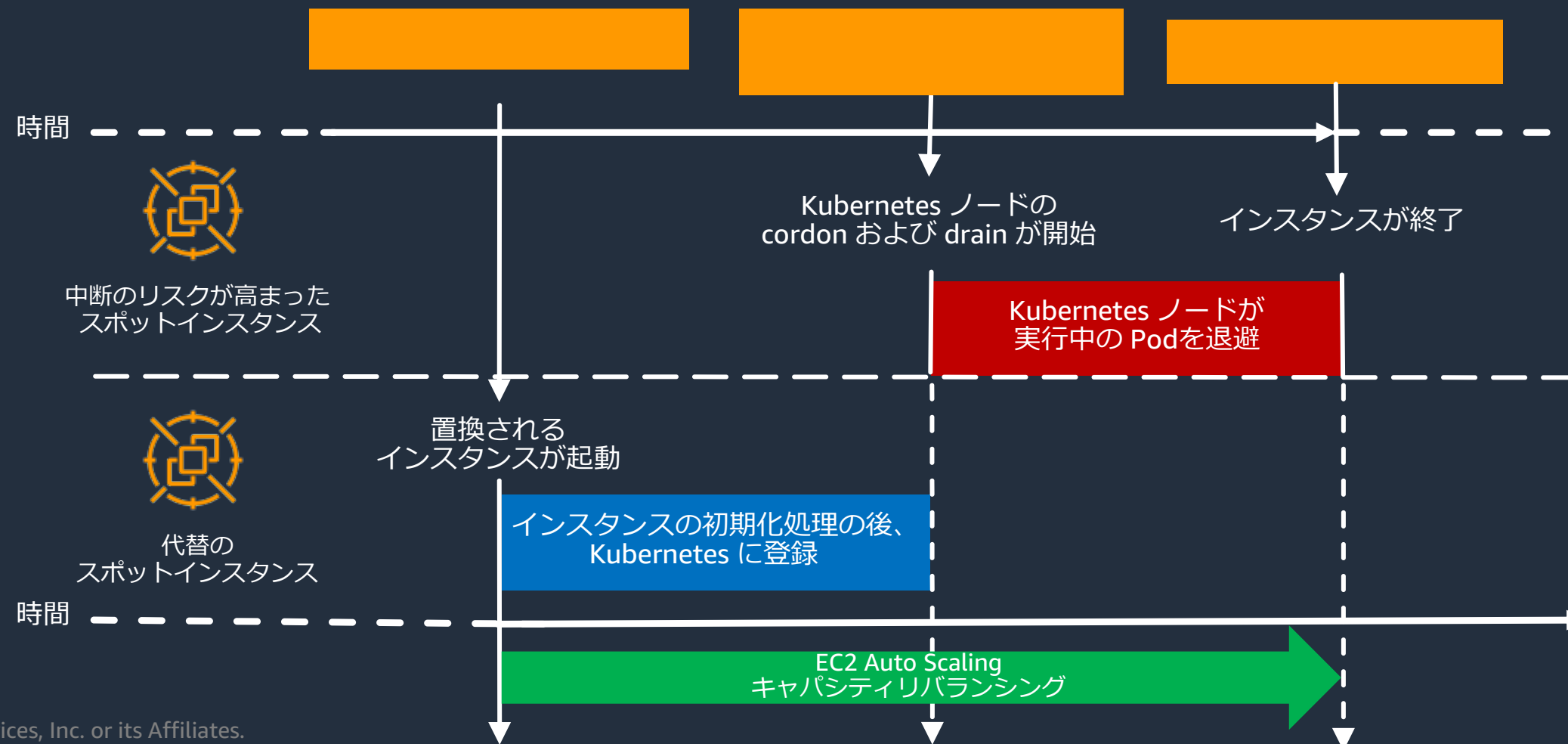




# スポット中断への対応

## マネージド型ノードグループの場合

- Node Termination Handler の導入など、お客様のアクションは不要
- リバランス通知を受け取ると、新規ノードの起動および通知対象のノードの drain を行う



# [補足] コンテナアプリケーション側での対応

- これらの仕組みは、あくまで Pod に SIGTERM を送るまでの仕組み
- SIGTERM を受けとった後の graceful shutdown や checkpoint の書き出しなどはコンテナアプリケーション側でシグナルハンドリングを行う必要がある

```
import signal, time, os

def shutdown(signum, frame):
    print('Caught SIGTERM, shutting down')
    # Finish any outstanding requests, then...
    exit(0)

if __name__ == '__main__':
    # Register handler
    signal.signal(signal.SIGTERM, shutdown)
    # Main logic goes here
```

```
process.on('SIGTERM', () => {
    console.log('The service is about to shut down!');

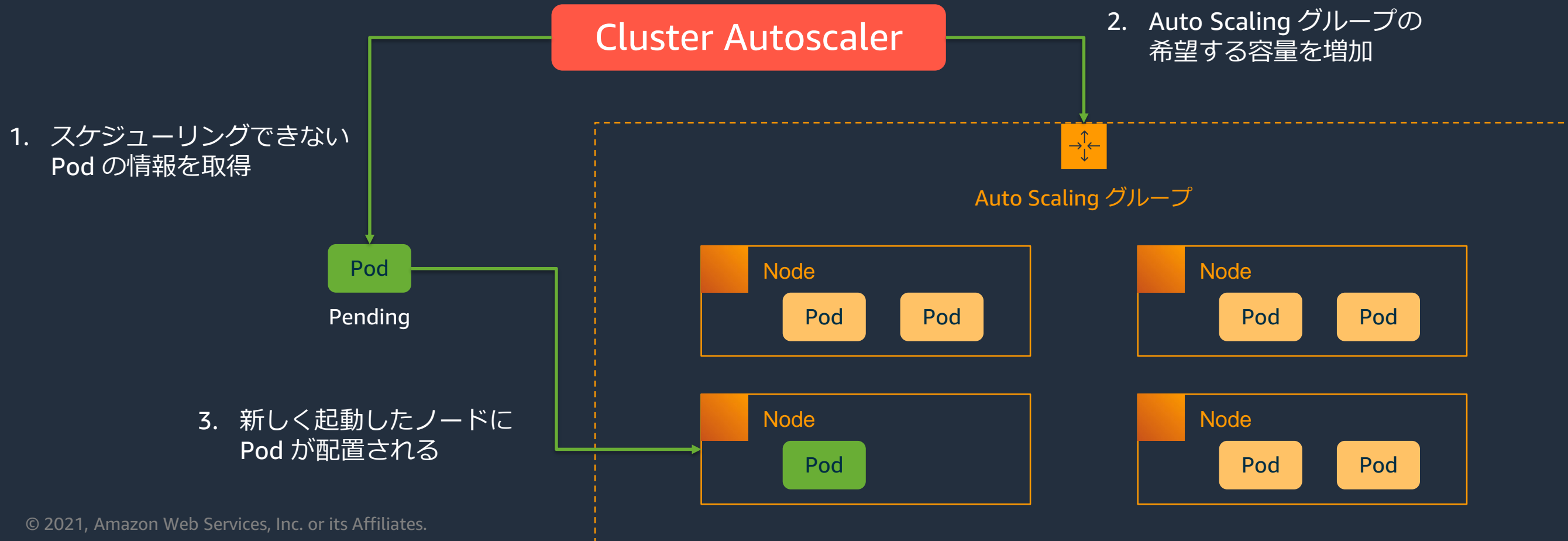
    // Finish any outstanding requests, then...
    process.exit(0);
});
```

# スポットのキャパシティ不足対応

セルフマネージド型ノード / マネージド型ノードグループ共通

Cluster Autoscaler (priority expander) を利用

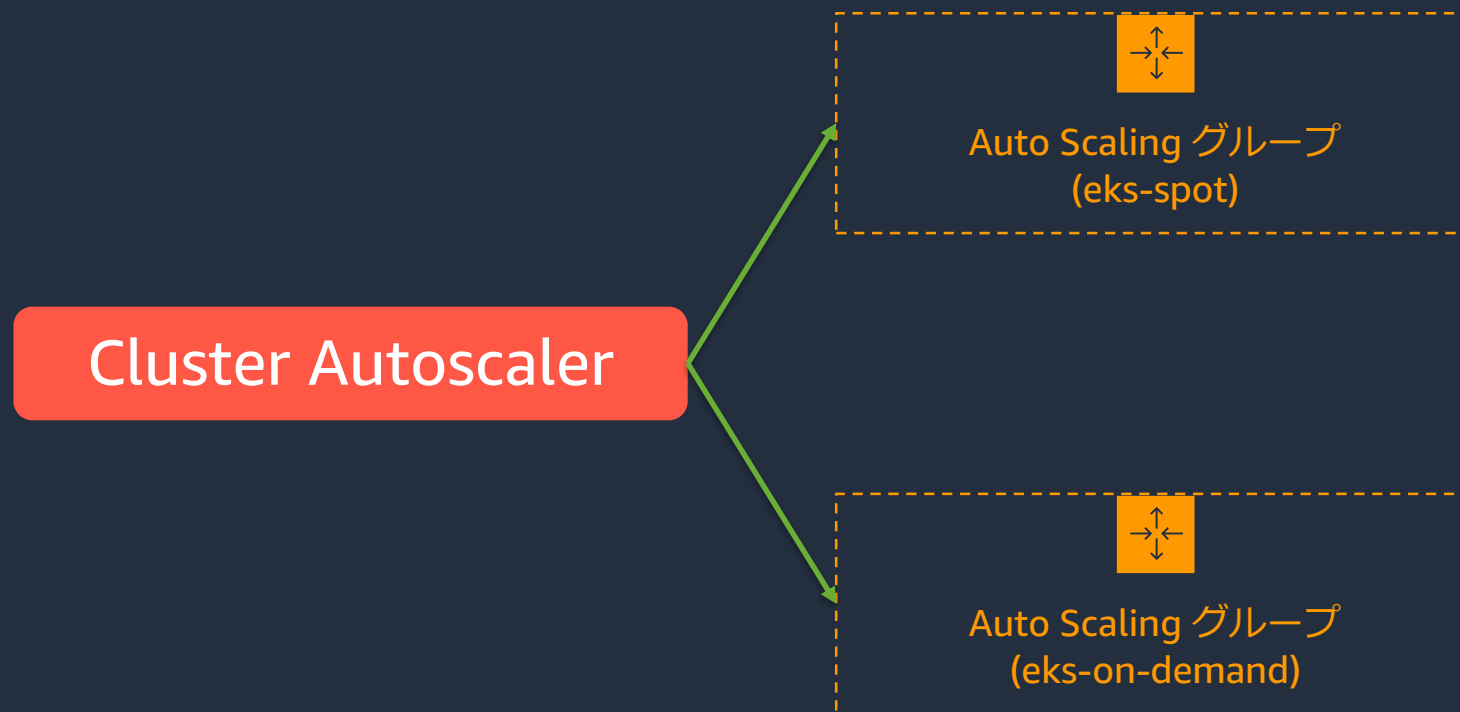
例) Cluster Autoscaler によるスケールアウト



# Cluster Autoscaler の priority expander

ユーザーが定義した優先度に基づきスケールアウトする Auto Scaling グループを選択

1. ASG "eks-spot" のスケールアウトを試みる



2. 一定時間内にスケールアウトが完了しない場合、ASG "eks-on-demand" のスケールアウトを試みる

```
apiVersion: v1
kind: ConfigMap
metadata:
  name: cluster-autoscaler-priority-expander
  namespace: kube-system
data:
  priorities: |-
    20:
      - eks-spot.*
    10:
      - eks-on-demand.*
```

# スポット活用における Cluster Autoscaler の考慮事項 (1)

Auto Scaling グループでは、同じサイズの vCPU とメモリリソースを持つインスタンスタイプを柔軟に組み合わせての使用を推奨

## EC2 instance selector

```
$ ec2-instance-selector ¥  
> --memory 4 ¥  
> --vcpus 2 ¥  
> --cpu-architecture x86_64 ¥  
> -r ap-northeast-1  
c5.large  
c5a.large  
c5d.large  
t2.medium  
t3.medium  
t3a.medium
```

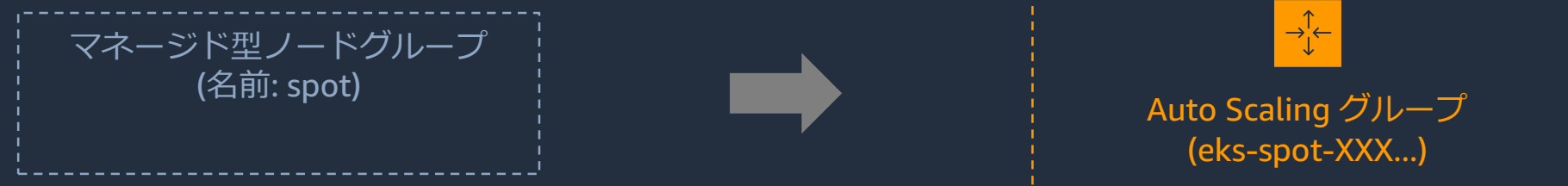
## eksctl での利用例

```
apiVersion: eksctl.io/v1alpha5  
kind: ClusterConfig  
  
metadata:  
  name: cluster  
  region: us-west-2  
  
nodeGroups:  
- name: ng  
  instanceSelector:  
    vCPUs: 2  
    memory: "4" # 4 GiB, unit defaults to GiB  
  
managedNodeGroups:  
- name: mng  
  instanceSelector:  
    vCPUs: 2  
    memory: 2GiB  
    cpuArchitecture: x86_64 # default value
```

# スポット活用における Cluster Autoscaler の考慮事項 (2)

- Kubernetes バージョン **1.20 以前** の EKS クラスタでは、マネージド型ノードグループの作成する Auto Scaling グループ名がランダムなため priority expander の指定が難しい
- Kubernetes バージョン **1.21** の EKS クラスタより Auto Scaling グループの命名規則が変更され、priority expander の指定が容易に

Kubernetes バージョン	命名規則
1.20 以前	eks- <code>&lt;uuid&gt;</code>
1.21	eks- <code>&lt;managed-node-group-name&gt;</code> - <code>&lt;uuid&gt;</code>

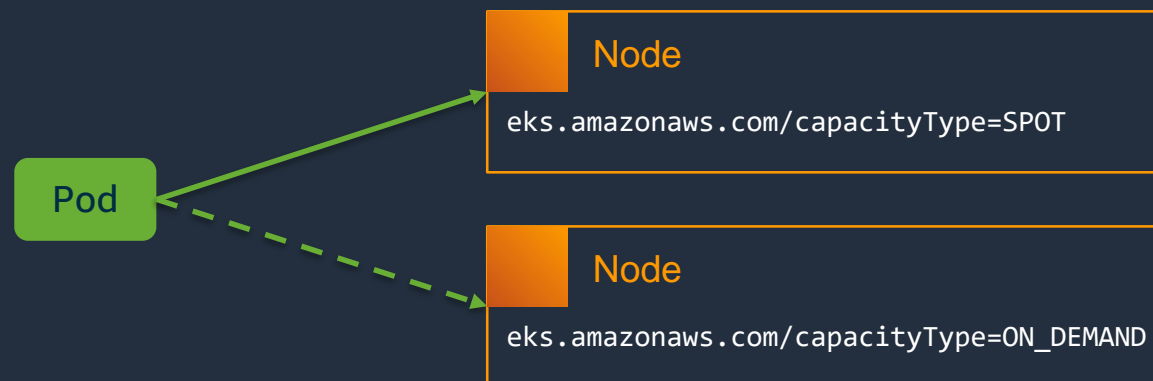


# スポット/オンデマンドの Pod 配置

Taint や Affinity を利用して、Pod のスケジューリングを制御する

例) 優先的にスポットインスタンスへ配置

```
affinity:  
  nodeAffinity:  
    preferredDuringSchedulingIgnoredDuringExecution:  
    - weight: 1  
      preference:  
        matchExpressions:  
        - key: eks.amazonaws.com/capacityType  
          operator: In  
          values:  
          - SPOT
```



例) 必ずオンデマンドインスタンスへ配置

```
affinity:  
  nodeAffinity:  
    requiredDuringSchedulingIgnoredDuringExecution:  
    nodeSelectorTerms:  
    - matchExpressions:  
      - key: eks.amazonaws.com/capacityType  
        operator: In  
        values:  
        - ON_DEMAND
```



# [補足] マネージド型ノードグループ x スポットインスタンス

---

マネージド型ノードグループのキャパシティータイプに“スポット”を選択した場合、以下のベストプラクティスが適用された状態で作成される

- eks.amazonaws.com/capacityType: SPOT という Kubernetes ラベルが付与
- 配分戦略に capacity-optimized を使用
- キャパシティリバランスがオプトイン済み
- リバランス通知を受け取ると、新規ノードの起動および通知対象のノードの drain を実施

<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/amazon-eks-now-supports-provisioning-and-managing-ec2-spot-instances-in-managed-node-groups-jp/>



# まとめ

---

- Amazon EKS におけるコスト最適化
  - データプレーンの「オートスケーリング」「適切なサイジング」「購入オプション」
- EC2 スポットインスタンスの活用
  - スポット中断への対応
    - [セルフマネージド型ノード] Node Termination Handler
    - [マネージド型ノードグループ] 対応不要
  - スポットのキャパシティ不足対応
    - Cluster Autoscaler の Priority Expander
  - スポット/オンデマンドの Pod 配置
    - Taint や Affinity の利用

# Thank you!